

二乃は知らない場所で  
目を覚ました  
ここに来た記憶がない

周りには裸の少年達が  
立っていた  
その異様な様子に  
二乃は身構えるが





はあっ？何なのよ  
あんた達！

いい加減にしないと  
許さないわよ！



ちよつと  
待ちなさい！

もっ…  
揉んでんじや  
ないわよ！！

むにゅ

むにゅ

もみ

むにゅ

もみ



どうして  
こんな事に……

あたしの体はこんな奴らの  
為にあるんじゃないっ

ふーっ

ふーっ

もみ

むにゅ

むにゅ

むにゅ

もみ



ダメよ  
あなた達

優しく  
言ってみれば  
いいかも…

んっ

んっ

お姉さんに  
こんな事しちや

くっ

くっ

くっ

くっ



言っ  
てさ  
びっ  
り  
め  
ん  
が



い  
い  
加  
減  
や  
め  
な  
さ  
い  
っ  
て  
...



脚に当たってるのってこいつらの...

ぬちゅ

ぬちゅ

ぬちゅ

ぬちゅ

ふー

ふー

ちゅ

ちゅ

ちゅちゅ

ちゅちゅ

絶対に許さないから  
今すぐやめないと



このっ…  
ホントにもう



そっだ英語で

ストップ!  
ストッププリーズ!



Vo

Vo

Vo

Vo

ちゅぽ

ちゅぽ

ちゅぽ

聞く気がないのね  
こいつら



止めないじゃなにっ



うわっキモッ  
最悪ッ!!

離れなさいよ  
クソガキ!!

はー!

はー!

ぬちゅ

ぬちゅ

ぬちゅ

ぬちゅ




やっと  
終わったかしら……

ふーっ

ふーっ

じゃ

早く帰って  
シャワー浴びたいわ



帰るとはいっても  
この知らない場所から  
どうやって帰るのか

自分のスマホが  
有るか分からず  
助けを呼べるかも不明

今度は何よ

って…デカツ







は!?

ニギ

ニギ

おはおは

て

くさっ!!

頭が痺れる様な

ふーっ

ふーっ

なんて臭いなの

あれ…  
これって精子?

ど

ろ

お

お

お  
お



少年達は二乃が暴れないように  
太ももまでしっかり押さえ込んだ

二乃は必死に抵抗するが  
無意味に終わってしまう



少年は二乃の恥部に  
むしやぶりついた

二乃の恥部からは  
すでに愛液溢れていた



何吸ってんのよー！

はー！

はー！

子○もの癖に  
生意気なのよ！

離れろってのー！

びく

びく

びく

ちゅる

ちゅる

びく

びく



少年は二乃の  
言うことを無視し

膣から溢れ出る芳醇な  
愛液を味わい続けた





ビリビリ  
痺れるっ

中に舌がっ...  
入って...

vo

vo

vo

vo

ふー

ふー

びく

びく

びく

びく





それ以上はっ

ちっ...  
ちめてっ

Vo

Vo

Vo

Vo

ちっ

ちっ

ちっ

やっど…  
終わった…

えっ…  
それって

朦朧とする二乃の  
前に少年の巨大な  
ペオスが現れた

とろろ



ちよっと！  
何してんのよ！

擦らないでよっ！

ずり

ずり

ずり

ふざけんじや  
ないわよー!

マジで挿入れる  
気なのっ!!

ぐり

ぐり

ぐり



す

あぁ

アンタみたいな  
エロガキが

アタシとHする  
資格があると思っ  
て...

おん



ぬい3P

そんなんっ…

子供のおち○ちんが  
私の中に…

ぬい3P

ぬい3P



ぬい3P

ぬい3P

ぬい3P

ひら...  
ふ...

何でアムタ  
なんかに...

絶対  
許さないわよ



ぬゝ3P

はーっ

そう言えば

はーっ

さっきの奴は  
精通してたわ

まさか  
アンタも…

ぬゝ3P

ぬゝ3P



中はやめなさい!!

お願い  
外にっ!!

嫌  
あ  
あ  
あ!!

フ

ビュウ





だ、

トク

はー

そんな...

はー

中...熱い...

妊娠したら  
どうすんのよ

無慈悲に少年の  
子種が二乃の膣内に  
注がれてしまった



二乃にも構いなく  
次の少年に入れ替わる

待ちに待った少年の  
ビキビキのイキモツが  
二乃の前に現れる



これは夢…  
悪夢ね

ほんとう  
最悪だわ…

びいっ

びいっ

ぬちゅ

ぬちゅ

ぬちゅ

ぬちゅ



二乃がどんなに  
現実から目を  
背けようとも

体に走る感覚は  
誤魔化せない



びーっ

びーっ

ぬちゅ

ぬちゅ

ぬちゅ

ぬちゅ

アంతタも  
精通してゐるの……？

皆そつなのね



パン

パン

パン

パン

ぱんぱん

ぱんぱん

お願いだから

中はやめて

本当に

妊娠っ  
しちやっ  
しちやっ  
しちやっ  
しちやっ

から...



ぱん

ぱん

ぱん

ぱん

ずんずん

ずんずん





また中に...

コイツら

本当最低...

マジで逃げないと

キョロ

トキ

トキ...



こんな奴らの  
子供なんて

死んでも産みたく  
ないもの…



翌日

少年たちの住処らしき所で  
二乃は目を覚ました

どうやら気絶して  
ここに運ばれたようだ



朝から何なのよ

とんだエロガキね



アంతたち  
本当に最低ね

そんなんじゃないわよ  
絶対モテないわよ

ズクン

ズクン

くわ

くわ

くわ

くわ



調子に…ツ  
乗るんじや…

このっ…  
これ以上はっ  
弄っちや…

カ  
カ  
カ  
カ  
カ  
カ







まさか妊娠  
しちゃったの!

うそっ  
何で母乳が!?

あ

あ

ぶ

ぶ

ぶ

ちゅぽ

ちゅぽ

ちゅぽ

どう責任  
取るつもりよ!!

アンタたちが  
中に出すからよ!!

あ

あ

Vo

Vo

Vo

Vo

ちゅぽ

ちゅぽ

ちゅぽ



許さないっ  
許さないんだから

許して…堪るもんか  
絶対…くっ…ふっ



Vo

Vo

Vo

Vo

ちゅぽ

ちゅぽ

ちゅぽ



ありえないわ...  
ありえない...

ぬちゅ

ぬちゅ

ぬちゅ

ぬちゅ

何でこんな気持ち悪い  
子〇もなんかに

犯されなくちや  
いけないのよ!

ぬちゅ

ぬちゅ

ぬちゅ

ぬちゅ

ふーっ

ふーっ

ちゅちゅ

ちゅちゅ

ちゅちゅ

ちゅちゅ





!!

ゴゴ

ちゅちゅ

ちゅちゅ

胸が鼓動が  
激しくなり  
息が苦しい

はー！

はー！

どくん  
どくん

どくん

どろお

いわ

どろろ...

二乃の体に何か  
起き始めていた

少年達は二乃を  
外に連れ出した

二乃が抵抗しないと  
分かると拘束を緩めた



抵抗さえ  
しなければ

抑え付けたら  
しないのね

はーっ

はーっ



油断させて  
いればその内

チャンスが  
巡ってくるはず





んんん

わんわん

わんわん

あんまり  
時間は  
ないわ

早く  
しないと  
まずい



二乃は少年たちを  
振り払い逃げ出した

しかしあっさりと  
捕まっってしまった  
再び押さえ付け  
られてしまう

今度は逃げ出さない  
ようにしっかりと



くっ…何なの  
コイツら

脚早すぎよ  
ムカつくツツ!!!

ぬちゅ  
ぬちゅ

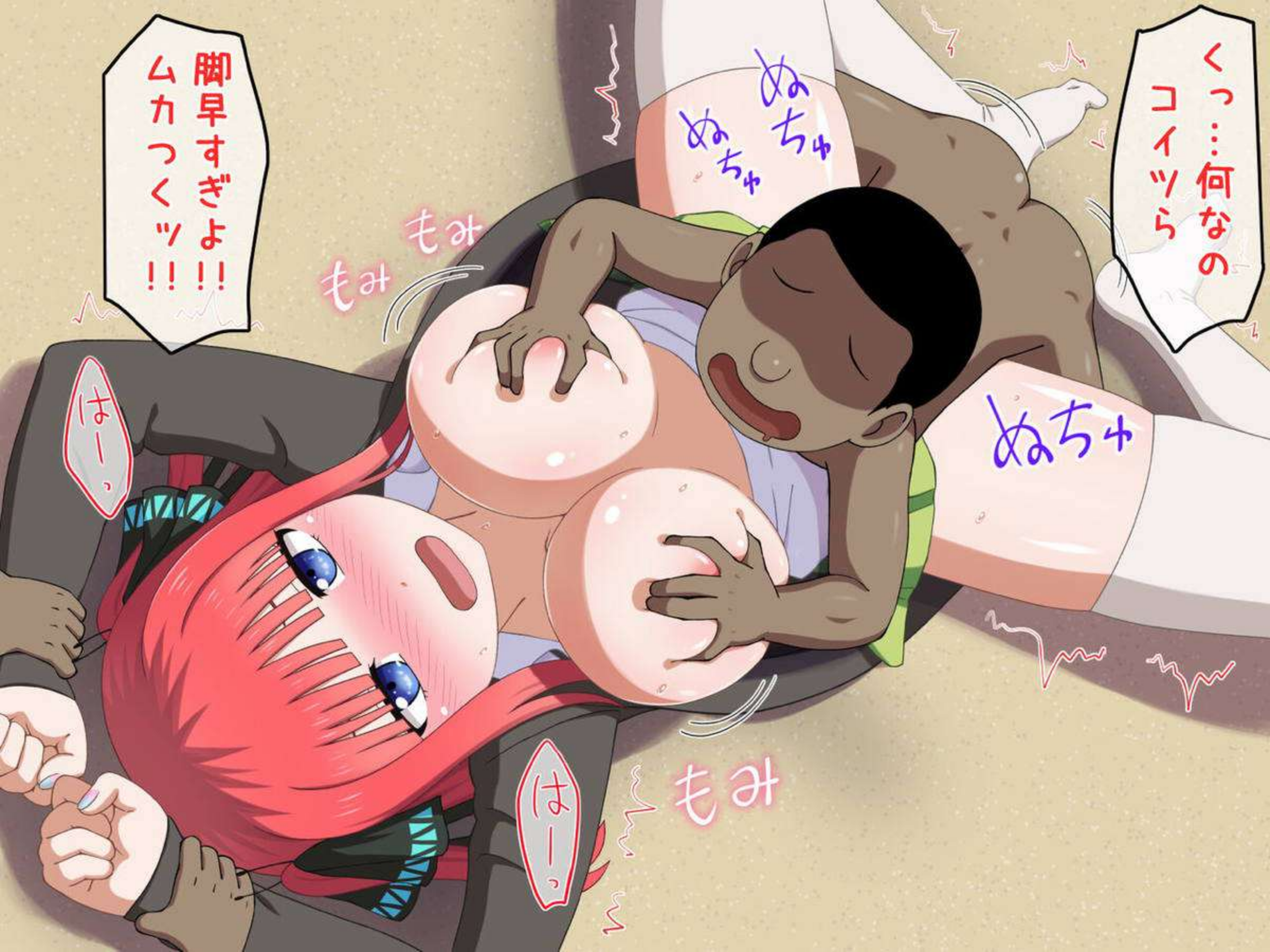
ぬちゅ

もみ  
もみ

もみ

はー

はー



もう同じ手は  
通じなさそうね

いっその事  
ぶん殴って...

ぬちゃ

ぬちゃ  
ぬちゃ

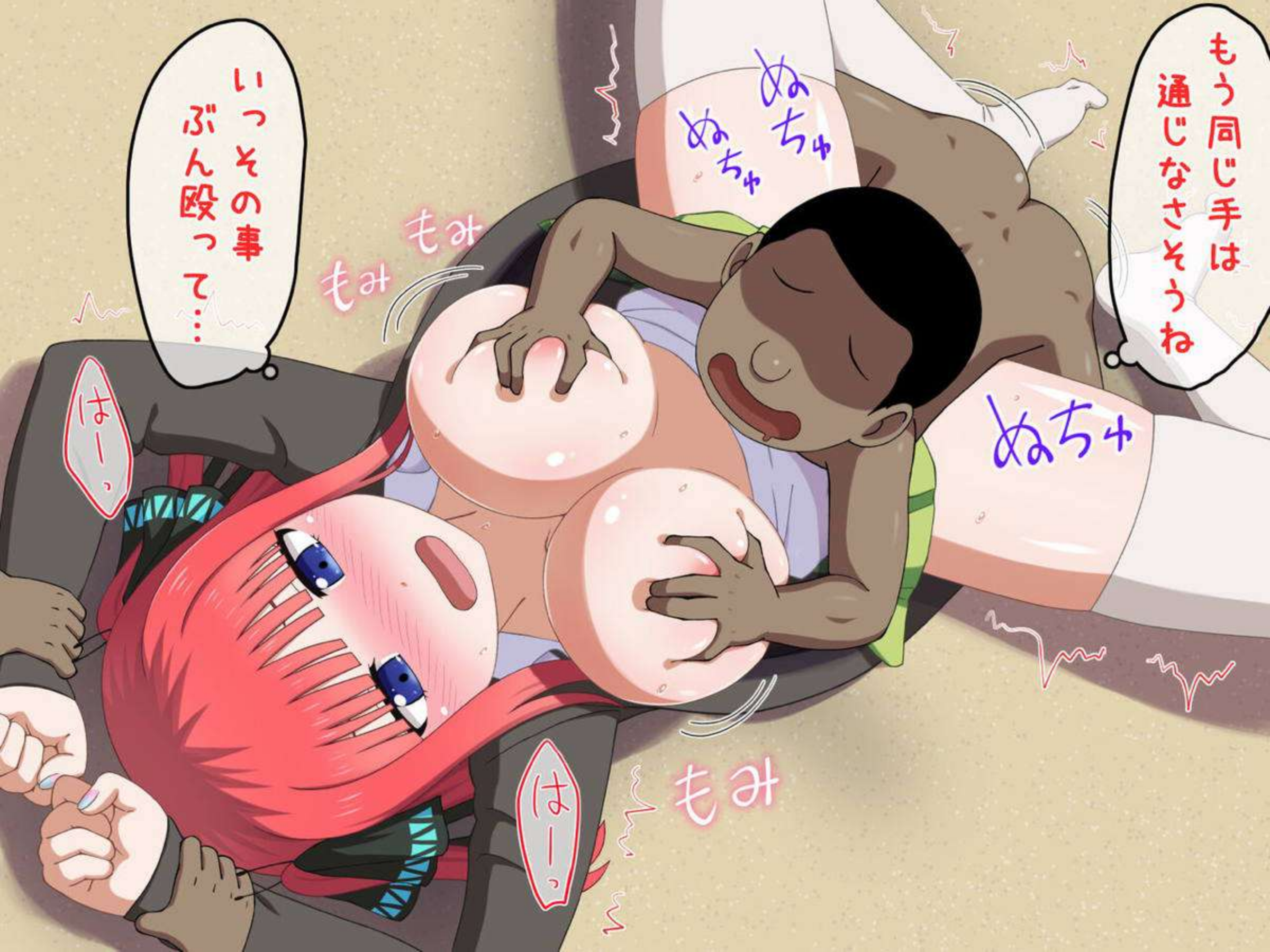
もみ

もみ

もみ

はー

はー



でもそんな事したら  
何されるか：

それは最後に  
取って置いた方が  
いいわね

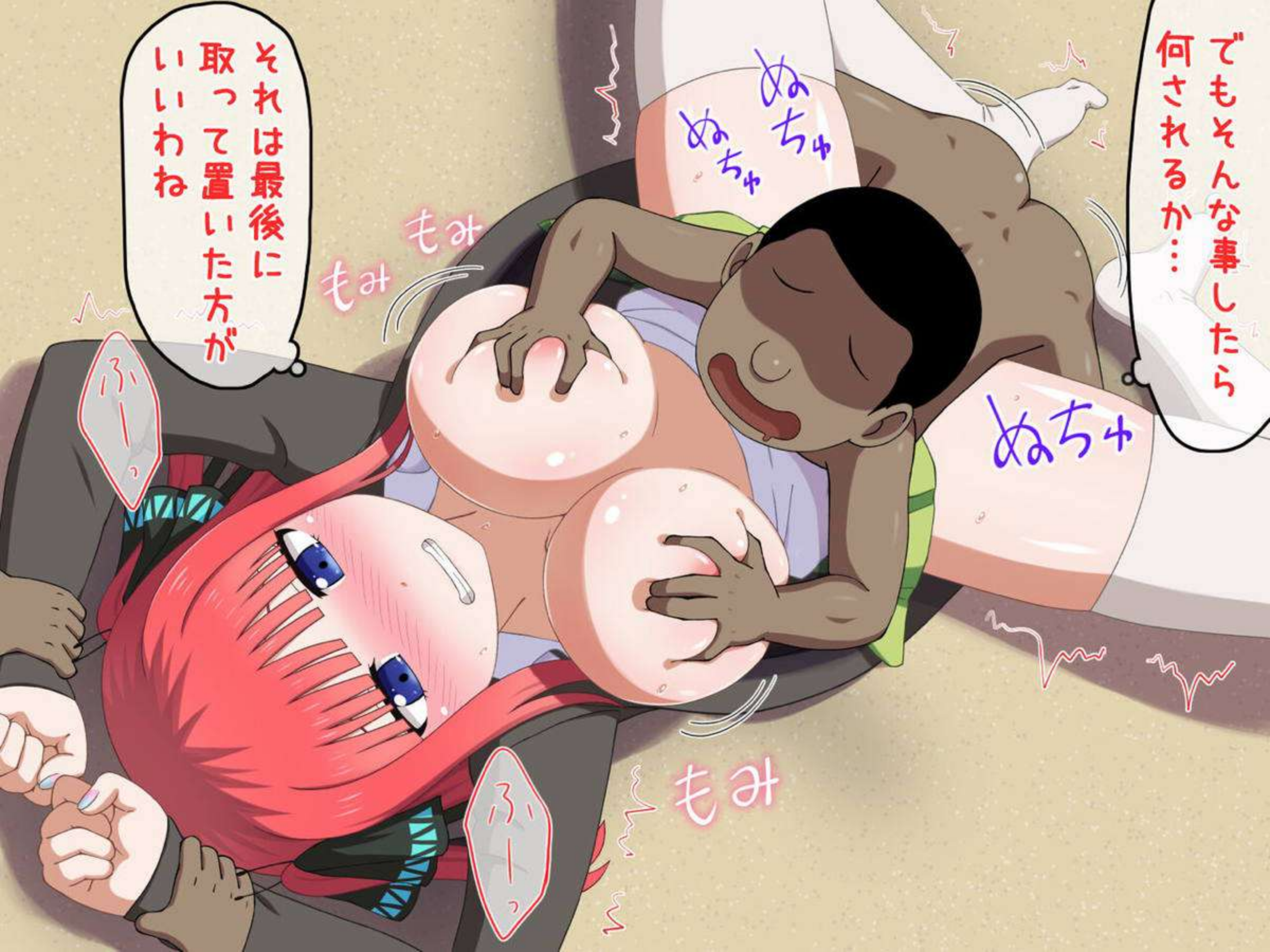
ぬちゅ  
ぬちゅ

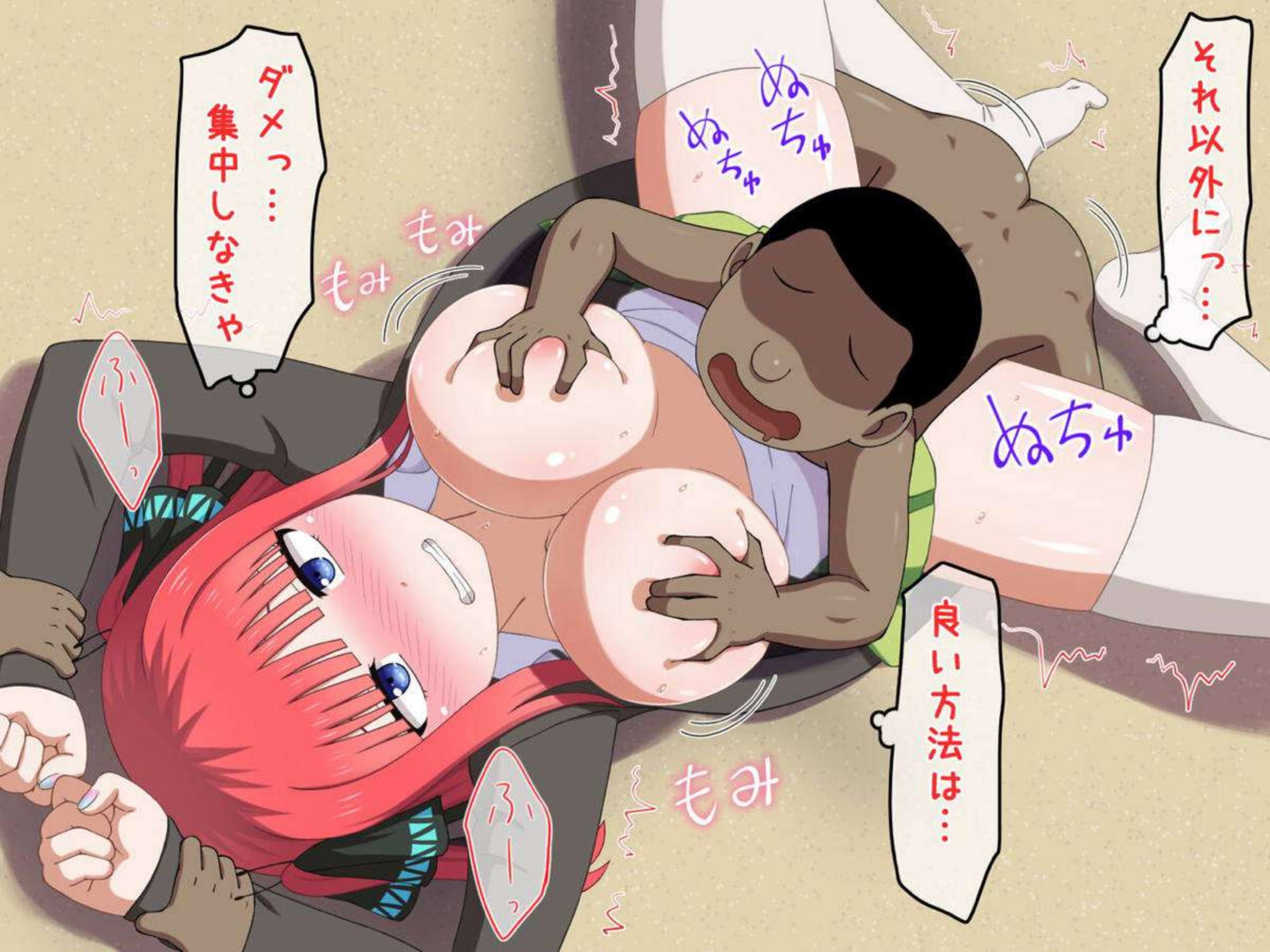
ぬちゅ

もみ

もみ

もみ





ダメっ...  
集中しなまきや

それ以外にっ...

良い方法は...

ぬちゅ  
ぬちゅ

ぬちゅ

もみ  
もみ

もみ

はー?

はー?

他に人が住んでいれば  
良いんだけど

でもコイツらと  
同じく野蛮な  
可能性もあるわ…

ちやう

ひゅっ  
びゅ

はーっ



でもーっで

ちやう

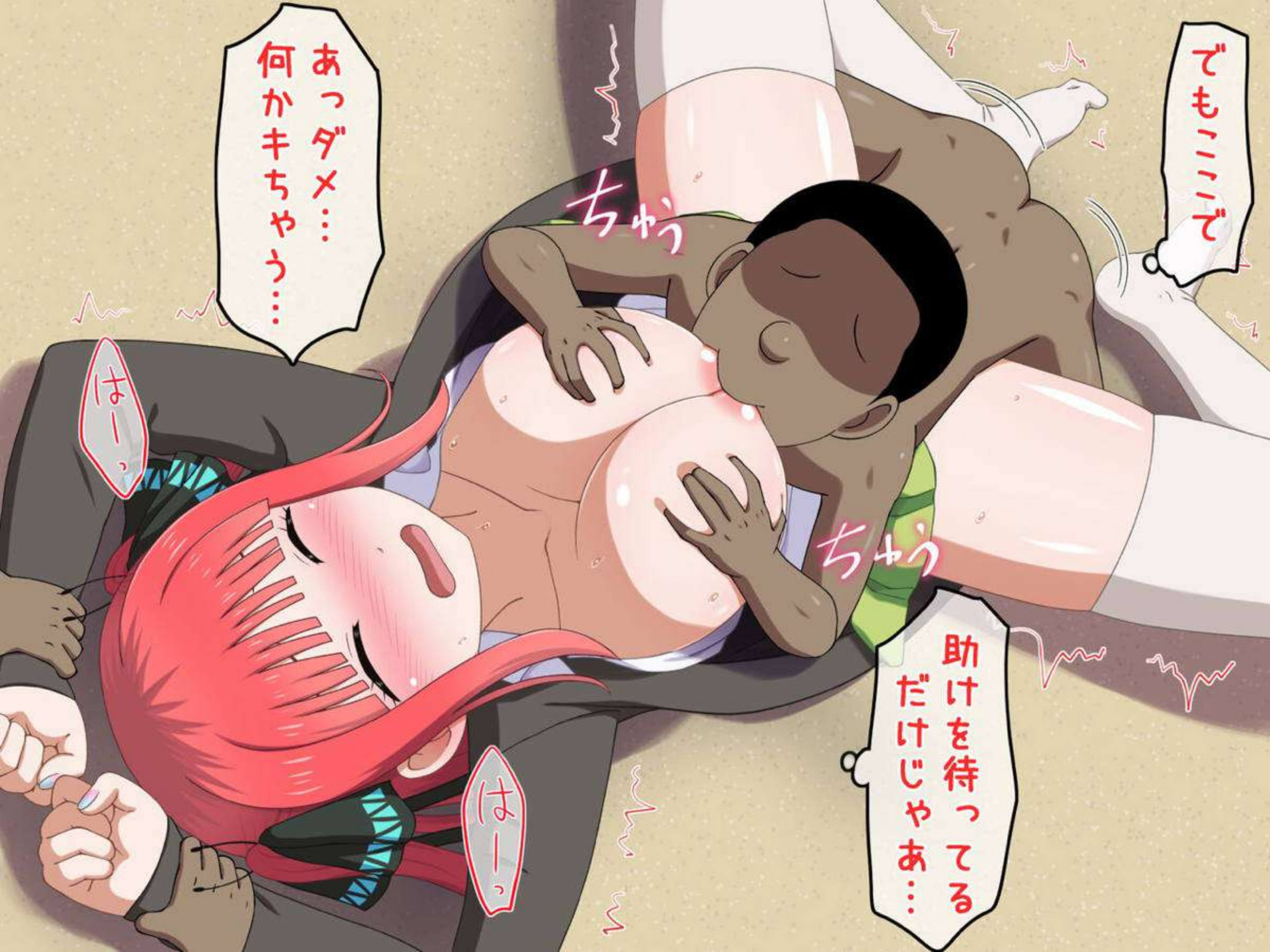
ちやう

あつダメ…  
何かキチャう…

助けを待ってる  
だけじゃあ…

はーっ

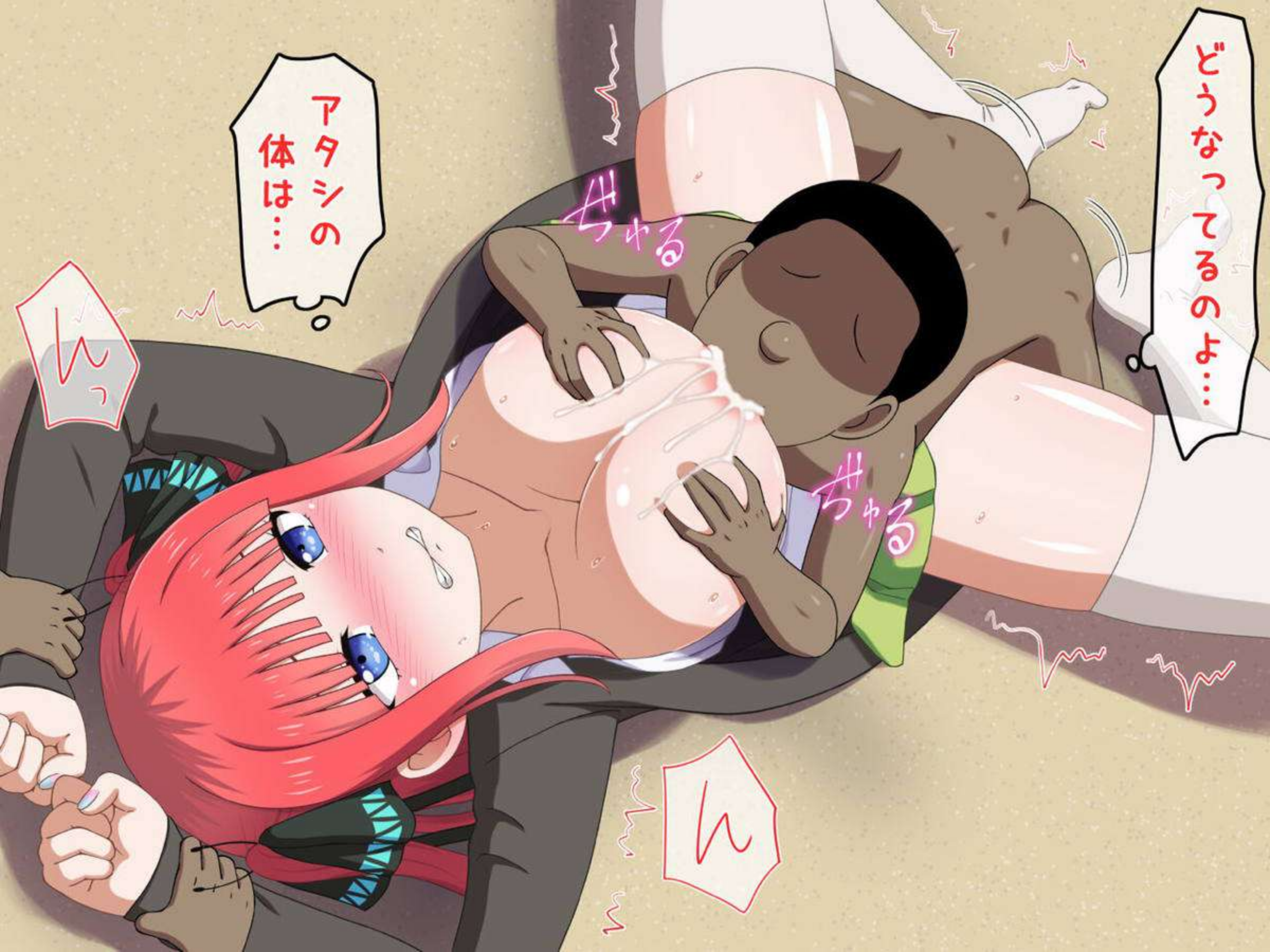
はーっ



また母乳が…

アタシがイクと  
出るように  
なってるの!?





アタシのは...

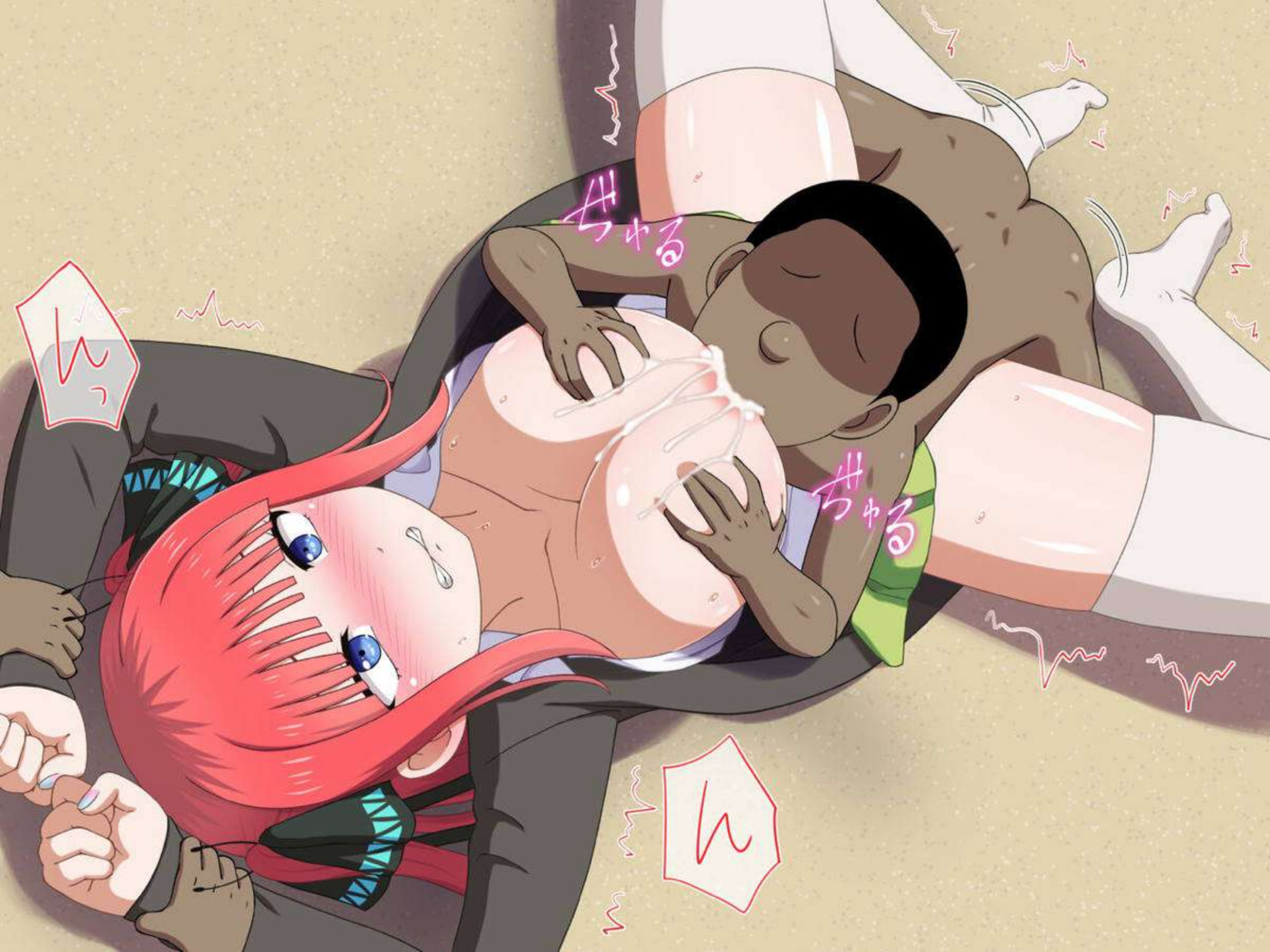
どうなってるのよ...

ん

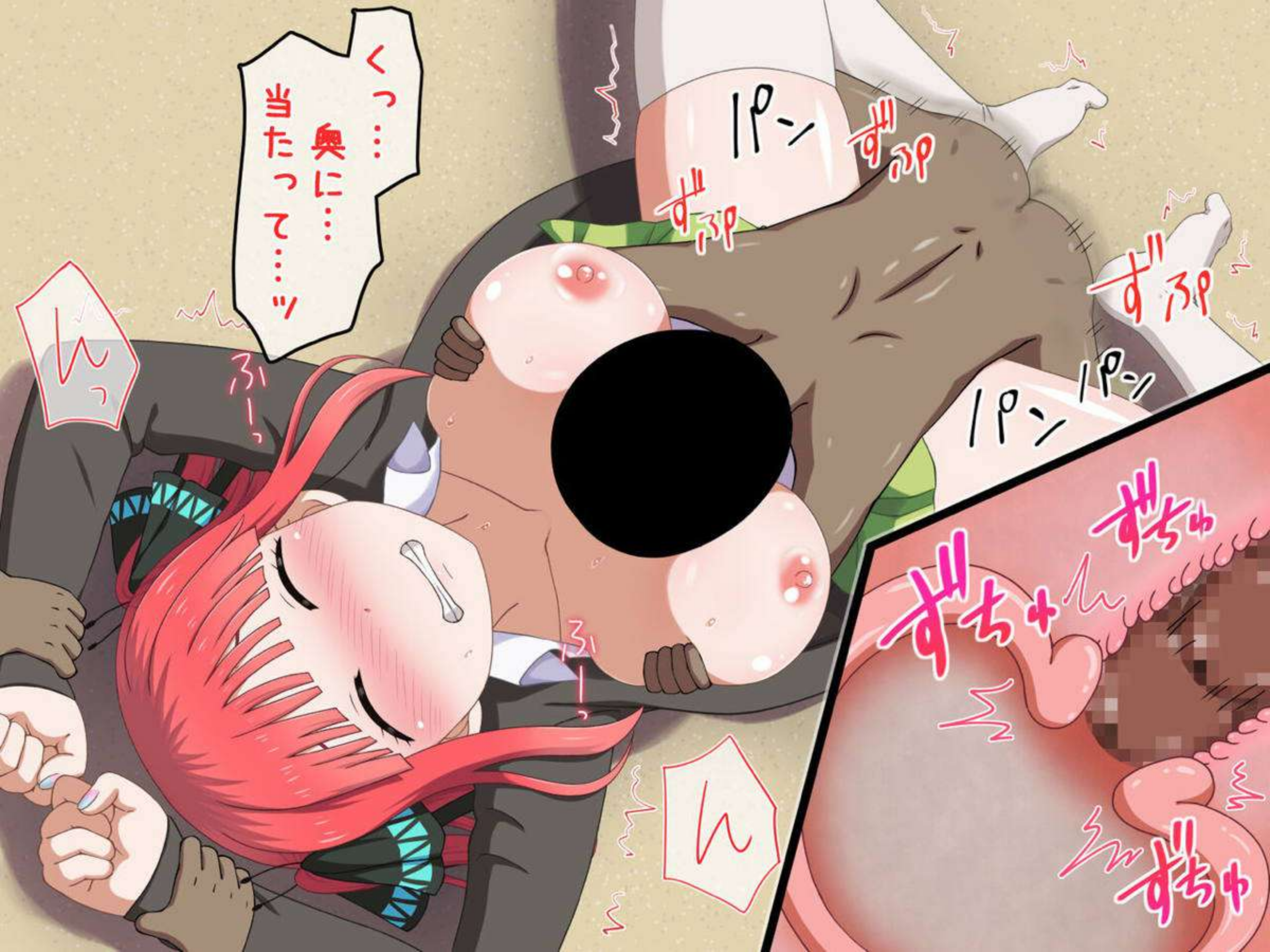
ん

あ

あ







くっ...  
奥に...  
当たって... ツ

ん

ん

あし  
あし  
あし

1P-1  
あし  
あし

1P-1  
1P-1

あし  
あし

めっちや  
気持ちいッ...

ヤバいッ...  
これッ

ん

ん

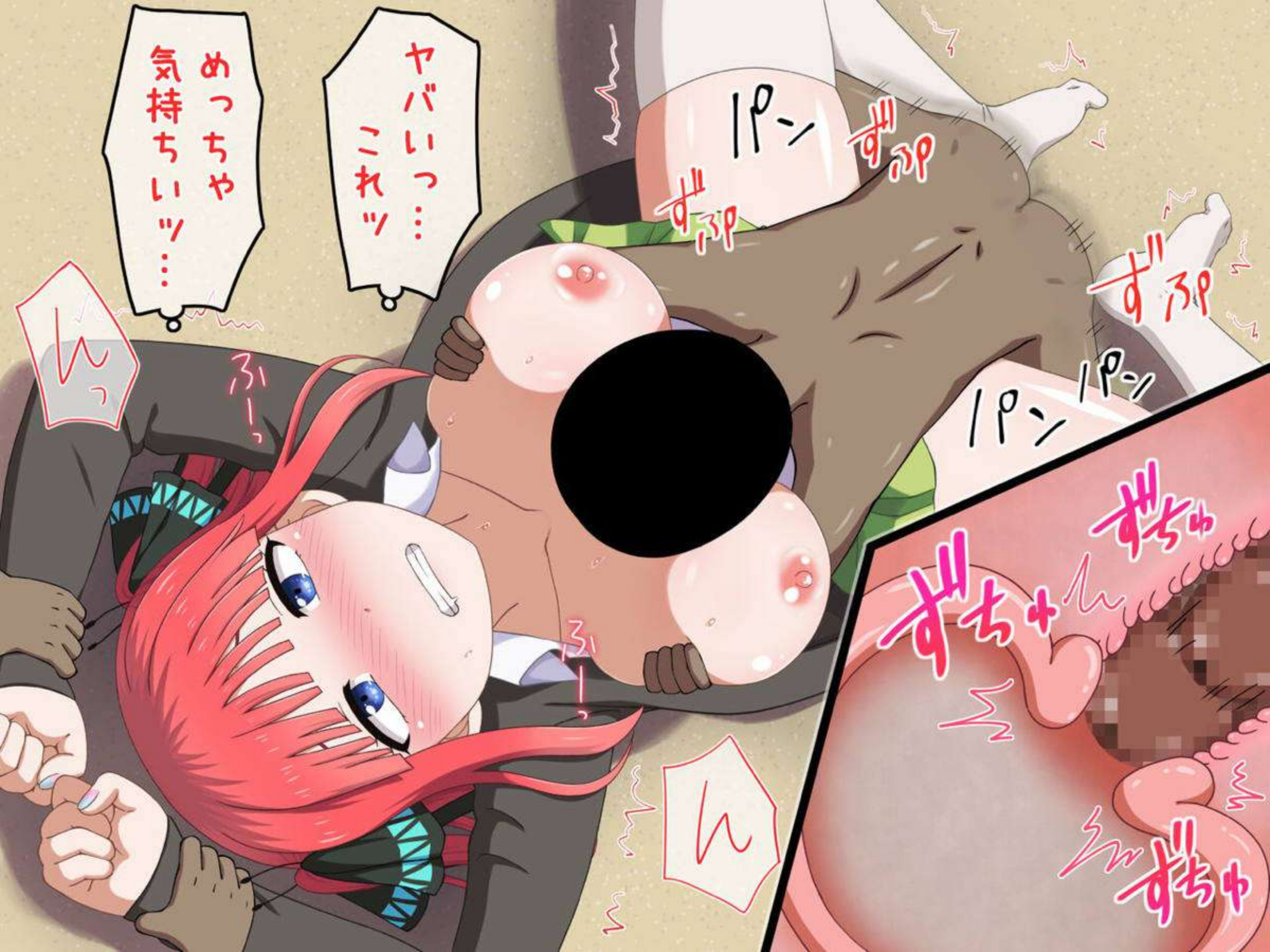
1P-  
ぢゅぢゅ

ぢゅぢゅ

1P- 1P-

ぢゅぢゅ  
ぢゅぢゅ

ぢゅぢゅ





ああ

わんわん

わんわん

わんわん

わんわん

びしょ

びしょ

びしょびしょ

びしょ

少年は二乃が  
自分のメスだと  
言わんばかりに

しっかりとしがみ付き  
子宮に直接その濃厚な  
子種を流し込んだ



その後も二乃は日が  
暮れるまで犯され続け



夜になり

住処に  
帰ってもなお



少年達は  
休むこともなく

二乃を代わる代わる  
輪姦し続けた



逃げ出そうと  
した罰

ニ乃が我々のメスだと  
分からせるために





ニ乃は抵抗する事も

少年たちを罵倒する  
気力も無く





はー！

はー！

おほん

ひたすら  
少年たちの

欲望の捌け口に  
され続けた



T=...

翌日：少年たちに襲われることもなく

二乃はここに来て初めて平穏な朝を迎えた

島の探索をしようとして外に出てみたが

**逃げたりしなければ  
押さえ付けようとしないのね**

なぜか少年たちに多少の自由を許されたようだ

少年たちが同伴の上で島を探索した二乃

食料を探しながら島の広さの確認、他の居住者探し

合間に少年達の求めに  
応じる事はあつたが

まったく…  
仕方ないわね









比較的安  
全に探  
索を終  
えた



島は一日で回れるほどの広さで他に住民は無し  
いくつか食料になりそうな木の実は見つけたが  
不思議と腹は空いていない

帰る方法は近くに船でも通りかからないと無さそうだ  
なのに自分がどうしてここに来たのか分からない  
記憶が曖昧ではっきりしない

早く帰りたいわ…  
スマホでもあれば皆に連絡できるのに  
でもここって電波通じるのかしら…？

そんな不安も

少年たちと交わっている間は  
忘れることが出来た





もっと来なさい

もっと...

あ

あ

3P  
るん

3P  
るん

あ  
ち  
ち

あ  
3P

あ  
ち  
ち

あ  
3P

あ  
3P

あ  
ち  
ち





助けが来るまでは  
この子達といるしか  
ないみたいね…

そんなに悪い奴らじゃ  
無さそうだし

はーっ

はーっ

ねとあ

おっ





えっ!?  
マジ!?

お尻に  
挿入される気!?

ニ乃は期待と不安で戸惑っていた  
しかし少年たちは止まらない

はーっ

ぢゅる

ぢゅる

ぢゅる

はーっ

ピキ

ピキ

ピキ



あゝ

ぐちゃぐちゃ

あゝ  
あゝ

あゝ

ぐちゃぐちゃ

びく

びく

びく

びく

びく



めっちや  
気持ちいい...

ヤツバ...  
コレ...

めっちや

めっちや

ぬ、3p

ぬ、3p  
ぬ3p

ーッ...

ぬ、3p

ぬ、3p

ぬ、3p

ぬ、3p

ぬ、3p

ぬ、3p

ぬ、3p

ぬ、3p

ぬ、3p

ぬ、3p

ぬ、3p

ぬ、3p

ぬ、3p

ぬ、3p

ぬ、3p



あ、びく  
こんなのもう  
味わえない  
じゃないッ

もし帰っ  
ちやっ...!

ちゅちゅ

ぬ、3p  
ぬ、3p

ちゅちゅ

ぬ、3p

あ、びく  
あ、びく





ああ...  
出てる...

お尻にまで...

はー!

はー!

と!!

ろお〜

おおお

二乃は

ふー！

理性と欲望の  
狭間で

揺れ  
動いて  
いた



島に来て数日…この日は  
海が見える場所で  
発情したニ乃と少年たち





ふー!

ふー!

ぬち4

ぬち4

船：今船が遠くに：

ぬち4

ぬち4

ぬち4

ぬち4

ぬち4



でも今  
それ所じゃ...

ぬちゅ

ぬちゅ

ず、  
30、  
31、

ず、  
30、  
31、

ん、  
ん、  
ん、

ん、

ちゅる  
ちゅる  
ちゅる



あ

びく

びく

イクツ  
イクツ  
イクツ  
イクツ

パン

パン

パン

パン

パン

パン

びく

あっ  
イツちやうっ...  
...

あ

あ

びく

びく



帰るチャンスよりも目先の  
快楽を優先してしまった

しかし彼女に  
後悔の念など無い



それからも  
昼夜場所を問わず

少年たちと  
交尾をし続け







交尾気持ちいいっ

あっ  
あんっ

あっ

あっ

ずっ  
ぬちっ

ずっ  
ぬちっ

ぬちっ

ずっ  
ぬちっ

ずっ

ずっ



ああ!!

ピュッ

30!

30!

ピュッ

ピュッ

ピュッ

ピュッ

ピュッ

ピュッ

ピュッ

ピュッ

ピュッ

ピュッ

ピュッ

おち○ちん  
気持ち良すぎ...

これさえ  
あれば...

他に何も...

二乃の頭の中は交尾の  
事ではいっぱいだった

べとおお

おち○ちん





はーっ

はーっ

ぬちゅ

すごい白い

ぬちゅ

すっ、すっ、

すっ、すっ、

遅しいオスの  
香りがするわね

ちゅる

ちゅる

ちゅる



ん

ん

ぬち

ぬち

ん

ぬち

ぬち

ぬち

ぬち  
130

ぬち  
130





おっぱい大好き

おっぱい大好き

おっぱい大好き

おっぱい大好き

おっぱい大好き

おっぱい大好き

おっぱい大好き

おっぱい大好き

おっぱい大好き

おっぱい大好き

おっぱい大好き

三か所で同時に射精を受け  
快楽に浸るニ乃

アタシ何か  
大事なことを

忘れている  
ような…

何だっけ…

あ、

あ、

あ、

ねい…

ちゅる  
ちゅる  
ちゅる



性欲にまみれたニ乃は  
最早別人と化した  
大切な人たちの存在を忘れ  
もうそれに気づく事もない

おち○ちん  
欲しいわ

それよりもっと  
交尾したいのよ

ちゅる  
ちゅる  
ちゅる

ふーっ

ふーっ

